

1. 基本方針について

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の継続」及び「自立支援」を基本とし、常に利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、そのプランに沿ってサービスが提供されるよう多種多様の事業者と連絡調整しながら、在宅での生活が継続できるよう行ってきました。

(1) 利用者・家族の信頼を得るについて

・コミュニケーションを大事にする様に、訪問や電話での連絡回数を増やすように努めてきた。

(2) 利用者・家族の課題を正確にとらえるについて

・アセスメントを正確に行うように努めてきた。

(3) 利用者・家族への情報提供をするについて

・必要としている制度情報やサービス情報を適切に提供するように努めてきた。

(4) モニタリングを行うについて

・毎月1回以上訪問し、状態にあったサービスが提供できるよう努めてきた。

(5) 利用者の立場に立つについて

・常に利用者の立場に立ち対応することに努めてきた。

2. 具体的な施策について

(1) アセスメント（課題分析）について

・利用者と家族の意向等を把握し、解決すべき課題や生活行為等に対する可能性を抽出し、それらに基づく目標を導き出すように努めてきた。

(2) サービス担当者会議（ケアカンファレンス）について

・利用者や家族、サービス事業所が参加することにより、生活への要望や課題を直接会って確認することで、その思いをチーム全員が共有できると共に、利用者と家族が「支援チーム」に支えられているという実感をもって頂くように努めてきた。

(3) モニタリング（サービス実施状況の把握及び評価）について

・モニタリングは、利用者に対する継続的なアセスメントでもあり、利用者や家族の要望や苦情を言い易いような関係を築いていくと共に、併せてサービスの実施状況も確認するように努めてきた。

(4) 居宅サービス計画の見直し（再アセスメント）について

・モニタリングの結果より、ケアプラン変更の必要性が生じたら、その内容を確認し利用者の状態の変化及びニーズを把握し再アセスメントを行い居宅サービス計画を見直し作成するように努めてきた。

(5) 給付管理について

・給付管理票を作成し、翌月10日までに県の国民健康保険団体連合会に提出してきた。

平成20年度 給付管理状況

月	件数	金額	月	件数	金額
4月	121件	1,622,900円	10月	117件	1,586,650円
5月	122件	1,628,450円	11月	117件	1,575,700円
6月	122件	1,634,750円	12月	119件	1,602,150円
7月	124件	1,657,750円	1月	118件	1,594,700円
8月	115件	1,548,300円	2月	116件	1,559,800円
9月	111件	1,498,850円	3月	117件	1,571,300円
合計		1,419件			19,081,300円

3. 重点事業目標について

(1) ケアマネジメントの充実について

(2) ケアマネジメントの基本プロセスの充実について

・アセスメントを十分に行い、利用者の真の状態像を把握するよう努めてきた。

(3) サービス担当者会議の充実について

・毎月1回開催し、サービス担当者がケア方針をもたないまま各サービスが提供されないよう、ケアプランに組み込まれたサービスが要介護状態の維持と改善に繋がるよう努めてきた。

(4) 主治医をはじめとした他職種連携の充実について

・利用者の生活課題の解決に至るよう、主治医はじめ様々な生活援助サービスとの連携を十分とるよう努めてきた。

(5) 継続的なケアマネジメントの充実について

・利用者の状態変化に応じて、継続的に適切なサービスが提供されるように支援し、在宅と病院間で入退院を繰り返す場合等の利用者にも継続的なケアマネジメントが実施できるよう努めた。

(6) 公平・中立性について

・居宅介護支援事業所が施設に併設されていることから、ケアプランに併設事業所のサービスがかたよらないように努めてきた。しかし、訪問介護事業所や通所介護事業所が村内に1ヶ所しかなく、利用者が集中している為、県へ9月と3月の年2回特定事業所集中減算における正当な理由書を提出し、減算対象外事業所となっている。

4. 介護支援専門員の資質・専門性の向上について

(1) 専門知識・技術向上を図る為に、研修会に参加し、周知徹底に努めてきた。

・東北ブロック老人福祉施設大会（宮城県） 1名参加

・国際福祉機器展示会（東京） 1名参加

・福祉用具・住宅環境改善住宅改修編（二本松） 1名参加

(2) 利用者から不満や苦情があれば、迅速かつ適切な対応が図れるように努めてきた。

・福祉サービスに関する苦情解決研修会（郡山市） 1名参加

・苦情解決研修会介護保険サービスにおける苦情解決研修会（南相馬市） 1名参加

(3) 秘密保持厳守、及び個人情報の取り扱いを適正に行うように努めてきた。

・年度当初の定例会にて、勉強会を行った。

(4) 困難事例ケース検討、及び新規ケースの情報を共有することにより、事業所全体で当事業所居宅依頼ケースのケアに取り組むように努めてきた。

・困難事例については、地域包括支援センターや他事業所とケース検討を行った。

- ・新規ケースについては、毎月開催している定例会にて情報の共有を行った。

5. 在宅介護への支援について

- (1) 介護保険制度及びサービス内容の周知に努めてきた。
- (2) 介護方法及び社会資源の利用についての周知に努めてきた。

飯舘村地域包括支援センター主催の、認知症介護・予防教室に参加し、グループホームヨッシーⅣの大井千加子先生の講演に参加した。

開催日	対象地区	参加人数
平成20年10月31日	草野地区	16名
10月31日	二枚橋地区	12名
平成20年11月6日	飯樋町地区	24名
11月6日	大倉地区	16名
11月8日	前田・八和木地区	8名
合計	5回開催	76名参加

- (3) 行政区単位の介護者の集い（地区のお茶のみ会）を飯舘村地域包括支援センターと開催し、介護者のメンタルケアの充実を図ってきた。

開催日	対象地区	参加者
2月16日（月）	佐須公民館	民生委員1、一般参加1
2月17日（火）	比曾集会所	介護者5
2月18日（水）	草野会館	介護者3、民生委員1
2月19日（木）	臼石集会所	介護者1、民生委員2
2月20日（金）	長泥コミュニティセンター	介護者1、民生委員1、一般参加1
2月23日（月）	大倉消防屯所	介護者3、民生委員1、一般参加2
2月24日（火）	伊丹沢集会所	介護者1、民生委員1
2月25日（水）	前田公民館	介護者1、民生委員1、一般参加1
2月26日（木）	飯樋町集会所	民生委員2
2月27日（金）	宮内公会堂	介護者2
3月2日（月）	二枚橋会館	介護者1、民生委員1、区長1
3月3日（火）	蕨平公民館	介護者3、民生委員1
3月5日（木）	深谷集会所	民生委員1、区長1
合計	13会場	介護者21、民生委員13、 区長2、一般参加5

6. 各関係機関との連携の強化について

- (1) 地域包括支援センターを始め、各関係機関との連携を蜜にし利用者のニーズに沿ったケアマネジメントが行えるよう努めてきた。

平成20年度ケアプラン作成件数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延件数	月平均
見込要介護1	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	210	18件
介護1実績	10	10	10	11	9	9	11	10	14	15	15	14	138	12件
見込要介護2	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	690	58件
介護2実績	49	51	47	48	42	39	39	41	38	37	37	39	507	42件
見込要介護3	35	35	34	33	33	33	32	32	32	32	32	32	395	33件
介護3実績	32	32	34	36	37	33	33	30	31	30	30	28	386	32件
見込要介護4	14	13	13	13	13	13	13	12	12	11	11	10	148	12件
介護4実績	18	17	19	17	14	17	19	20	21	20	18	21	221	18件
見込要介護5	14	14	14	14	13	12	12	12	11	11	10	10	147	12件
介護5実績	12	12	12	12	13	13	15	16	15	16	16	15	167	14件
見込総件数	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	1,590	133件
実績件数	121	122	122	124	115	111	117	117	119	118	116	117	1,419	118件
1人平均実績	30.3	30.5	30.5	31.0	28.8	27.8	29.3	29.3	29.8	29.5	38.7	39.0		30.8件

